

細菌性赤痢に気をつけましょう！

今年度、県内で細菌性赤痢の集団発生がありました。

○細菌性赤痢とは？

- ・赤痢は赤痢細菌による感染症です。
- ・海外旅行での感染のほか、国内での感染も見られ、時に幼稚園、保育園、福祉施設などで集団発生をみることもあります。

○感染経路は？

- ・患者や保菌者の糞便に汚染された手指、食品、水などを介して感染する経口感染です。

○症状は？

- ・症状は発熱、腹痛、下痢があり、下痢の程度には軟便から水様便までさまざまです。
- ・重症になると血便等を伴います。
- ・症状が出るまでの期間は1～5日間(多くは3日間以内)です。



予防方法

★予防方法の基本は手洗いです！

★調理や食事前、排便後やオムツ交換後も手洗いをしましょう。

★汚染部分や人の手が触れる場所(水洗トイレのレバーやドアノブなど)は消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウムなどで丁寧に消毒しましょう。



下痢、腹痛などの症状があるときは

●安易に下痢止めなどを飲まず、早めに医療機関を受診し、医師の指示に従いましょう。

●症状のある方の入浴は入浴の順番を最後にするか、シャワーの利用だけにしましょう。